

# ハンノキ通信

夏の号  
発行

あらかわ市民環境サポーター事務局  
(国土交通省荒川上流河川事務所)  
平成22年8月25日

## ハンノキはすくすくと育っています

川島町立出丸小学校と上尾市立太平中学校では、今年も子どもたちが三ツ又沼ビオトープに植えもどすための「ハンノキ」を、種から大切に育てています。子どもたちが育てているハンノキの様子は、上尾や川越の市民からなる「あらかわ市民環境サポーター（以下、環境サポーター）」が学校を訪問して確認しています。そのときには、子どもたちへアドバイスや三ツ又沼で見ることができる生き物の話をしてくれています。

7月7日に今年2回目の学校訪問を行いました。

川島町立出丸小学校をサブ環境サポーターの甘浦さん、我孫子さんが訪問しました。

今回は、七夕についてのお話と身近な水辺の草「マコモ」の紹介、三ツ又沼ビオトープで見られる生きものの紹介をしました。また、子どもたちからのたくさんの質問にも答えていただきました。



この草知ってる？  
マコモっていう草だ

マコモで作る、「マコモ馬」は七夕の行事で使います。



生き物の写真や録音した鳥の鳴き声などを紹介。



春に芽吹いたハンノキです。夏休みも水やりをわすれないでください



上尾市立太平中学校（科学部）をサブ環境サポーターの大友さんが訪問しました。

1・2年目の苗が順調に大きくなっていることを確認しました。

このほか、みんなに「君たちのハンノキには、夏の間どんな管理が必要でしょう？」と質問を投げかけ、どう育てたら良いかみんなで考えました。



色々な生き物が生きられる環境の大切さについてお話ししてもらいました。



太平中の若いハンノキは、室内で育てられるなど、工夫されています。



## ミドリシジミの観察会をしました！

6月26日（土）の夕暮れ時、埼玉県の蝶である「ミドリシジミ」の観察会が行われました。このきれいなチョウを一目見ようと、当日は上尾市や川島町、川越市などから36名もの方の参加がありました。ハンノキの周囲をさかんに飛び回っている、たくさんのミドリシジミを観察することができました。

また、オリエンテーリング「三ツ又沼ビオトープを知ろう」も行われ、環境サポーターが三ツ又沼の動植物についてお話をしてくれました。



写真提供者：サブ・サポーター 熊谷康夫さん

(影の国いきかい大学伊奈学園17期校友会 「いきいき荒川応援隊」所属)



## 官民連携による市民活動の助成事業を始めます。～武州・入間川プロジェクト始動！～

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、(財)埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に対し、その活動を支援するための活動助成を行います。助成金（最大20万円）を交付するだけでなく、必要により河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートします。

助成対象：市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動を支援します。

助成対象活動：①原則として入間川流域の河川内をフィールドとして行う河川環境の保全・再生・創出に貢献する活動

②上記活動などに関するセミナー等の実施、河川環境の保全・防災に資する学習活動等

応募方法：所定の申請様式に必要事項を記入し、郵送又は電子メールで提出。申請様式は <http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo> からダウンロード

応募期限：平成22年9月25日（土）

応募先及び問い合わせ先：「武州・入間川プロジェクト」活動助成 入間川環境保全支援委員会事務局

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-103-1 YKビル5F eメール [iruma-project@ecosys.or.jp](mailto:iruma-project@ecosys.or.jp)

埼玉県生態系保護協会「入間川環境保全支援委員会事務局」電話 048-645-0570 FAX048-647-1500